

コンピューター使い排水管理

の社
村会
雲電
八電

全国で初めて製作

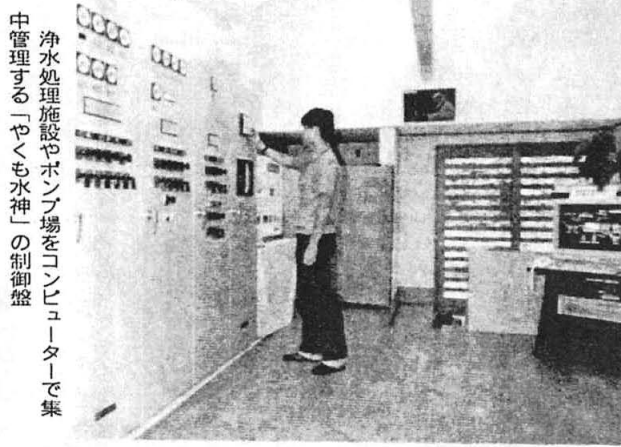
下水設備など回線で結ぶ

八東郡八雲村の小松電機産業(小松昭夫社長)が、地域内の下水設備などを通信回線で結び、コンピューターを使って排水事業の集中管理を行うとともに、専門業者のアドバイスも受けられる全国初の集落排水計画・制御・監視システム「やくも水神」を製作、発表した。

「やくも水神」は、浄水「監視」というシステム。処理施設やポンプ場などを、各施設では、流量、残留塩素、濁度、PHなどのデータと結び、役所など管理機関においてホストコンピュータでデータを一括監視でき、小人数で管理可能

なため現場での人手不足に一役買う。

また、公衆回線を使用するため維持費は四一五割安。処理業者らも同一情報を得ることができ、ボケットベルで現場担当者呼び出せるなどメンテナンス面でもメリットがあるほか、他県の水処理の専門家などにもアドバイスを求めることができる。同社では、専門家などを含めた広範なネットワークとして特許を出願中。



浄水処理施設やポンプ場をコンピューターで集中管理する「やくも水神」の制御盤

同社では、すでに県内をはじめ滋賀、兵庫など六十カ所以上に上下水道の計装システムを導入している。このうち来年春に開港予定の石見空港(益田市)と滋賀県びわ町にすでに導入されているものは「やくも水神」とほぼ同じシステム。同システムは、いまのところ人口約四千五百人の集落が対象。価格は、ホストコンピュータと処理場一カ所のシステムで約二十万円。計装システムなどを取り入れると三千万〜四千万円程度になるという。